

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-062283

(43)Date of publication of application : 07.03.1997

(51)Int.Cl.

G10K 15/04

G09B 15/00

(21)Application number : 07-240972

(71)Applicant : EKUSHINGU:KK
BROTHER IND LTD

(22)Date of filing : 25.08.1995

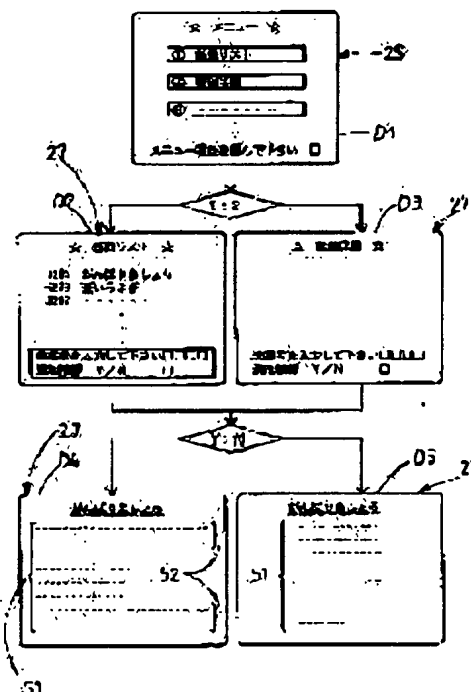
(72)Inventor : HASEGAWA MASATO

(54) 'KARAOKE' (PRERECORDED BACKING MUSIC) DEVICE AND 'KARAOKE' COMMUNICATION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a 'karaoke' device and 'karaoke' communication system storing the words of 'karaoke' music as information of characters, which can print the words or information of karaoke music designated and the like.

SOLUTION: When the screen of a CRT monitor 27 of an operation device displays an image D3, the number of tune '1234' and 'Y' is input, and then the image plane of the monitor 27 is changed to an image D4 and the title of the tune corresponding to the number '1234', i.e., the words 51 and additional information 52 of the title: 'ganbari masha' (do the best) are displayed by means of a printer in two lines followed by the printing operation to print them on a printing sheet of paper. On the other hand, when the number '1234' and 'N' are input, the image plane of the monitor 27 is changed to an image D5 and only the words of the title 'do the best' corresponding to the number is displayed thereon followed by the printing operation of the printer to print it.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 18.09.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.08.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

特開平9-62283

(43) 公開日 平成9年(1997)8月7日

(51) Int. Cl.	優先番号	発明の名称
G10K 15/04	302	カラオケ装置
G09B 15/00	302D	

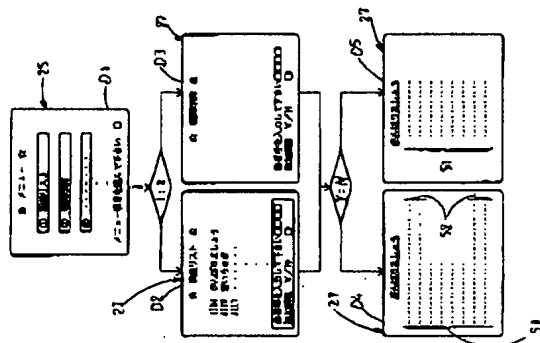
(21) 出願番号	特願平7-240572	発明の名称	カラオケ装置 請求項の範囲 6 PD (全 8 頁)
(22) 出願日	平成7年(1995)8月25日	(71) 出願人	33004539 株式会社エクスティング 名古屋市中区錦3丁目10番35号
		(71) 出願人	00005297 ブラザー工業株式会社 愛知県名古屋市中区錦3丁目15番1号
		(72) 発明者	長谷川 政人 名古屋市中区錦3丁目104番地 4 号
		(70) 代理人	弁理士 富澤 孝 (特 1 名)

(54) 【発明の名称】 カラオケ装置およびカラオケ通信システム

(57) 【要約】

【課題】 カラオケ曲の歌詞を文字情報として記憶するカラオケ装置及びカラオケ通信システムにおいて、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等を印刷することができ、カラオケ装置及びカラオケ通信システムを提供すること。

【解決手段】 運用装置のCRTモニタ27の画面がD3を表示しているときに、キーボード26により推番号「1234」と「Y」を入力すると、CRTモニタ27の画面がD4に変換して、曲番号「1234」に該当する題名「がんばりましょう」の歌詞51と追加情報52が、左右に2段に表示されるとともに、プリンタ28により印刷紙60に印刷される。一方、キーボード26により曲番号「1234」と「N」を入力すると、CRTモニタ27の画面がD5に変換して、曲番号「1234」に該当する題名「がんばりましょう」の歌詞51のみが表示されるとともに、プリンタ28により印刷紙60に印刷される。



懼し出すには大膽に不便であった。

【0007】ところか、通称型カラオケ装置等においては、「歌詞テロップ」は、文字情報として背景映像と見出され、その画面に記置される中、背景映像が映し出される表示装置の画面に、設定中のカラオケ曲の「歌詞テロップ」を重畳合わせて表示する「スーパーインポーズ」と呼ばれる技法が取り入れられているので、「歌詞テロップ」の文字情報のみをカラオケ装置から出力することは不可能であり、上述した問題点に於いて、「スーパーインポーズ」の技法を取り入れたカラオケ装置は本家に劣る効となるが、特定したカラオケ曲の「歌詞テロップ」という文字情報を印刷する機能（以下、「歌詞印刷機能」という）等は存在していないかった。また、通称型カラオケ装置では、カラオケ曲の歌詞や設定に関するデータは公衆電話回線を通じて送られており、カラオケ曲の記憶に於いて歌詞カードが提供されることはないの、歌詞テロップ以外にカラオケ曲の歌詞を知ることができなかつた。

【0008】また、近年におけるカラオケボックスやカラオケルームの普及により、カラオケプレイヤーが行われる機会が大幅に多くなったが、うまく歌う「コツ」や「雰囲気」を盛り上げる「ポイント」等の情報、歌詞印刷機能に加えて提供することができれば、かかる機能を利用して、カラオケプレイヤーをより一層に盛り上げることができ、また、カラオケボックス等を有したカラオケ施設のサービス向上に役立つことが可能となる。

【0009】そこで、本発明は、カラオケ曲の歌詞を又
字情報として記憶するカラオケ装置及びカラオケ通信シ
ステムにおいて、指定されたカラオケ曲の歌詞や情報等
を印刷することができ、カラオケ装置及びカラオケ通信
システムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため本発明のカラオケ装置は、楽譜データを文字情報として印刷するカラオケ装置であって、指定されたカラオケ曲の歌詞の全額または一部を歌詞データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とする。また、上記構成を有するカラオケ装置において、複製の例がカラオケ装置の運用に管理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする。さらに、上記構成を有するカラオケ装置において、前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする。

【0011】また、本発明のカラオケ通信システムは、前記図1に示すように、前記カラオケ通信システムとして配役される歌唱データを文字情報として記憶するカラオケ記憶を有するカラオケ通信システムであって、特定されたカラオケ曲の歌唱の全部分または一部を歌唱データに基づいて印刷する印刷手段を備えたことを特徴とする。また、上記構成を有するカラオケ通信システムにおいて、前記カラオケ装置の運用を管

理する運用装置に前記印刷手段を備えたことを特徴とする。さらに、上記増成を有するカラオケ迎應システムにおいて、前記歌詞データには指定されたカラオケ曲に関する情報データが追加されていることを特徴とする。

【0012】このような構成を有する本発明のカラオケ装置またはカラオケ曲調システムでは、カラオケ曲の歌詞を知りたい場合には、そのカラオケ曲を指定すると、そのカラオケ曲の演奏とは関係なく、文字情報として記憶されている歌詞データの全部が印刷手段により印字されて、カラオケ曲の歌詞を知ることができる。尚、印刷手段は、印字する歌詞データを一頁に規定することもでき、また、複数のカラオケ曲を登録して、歌詞データ等を共有している場合には、複数のカラオケ曲の選定を管理している選曲装置に印刷手段を備えて、指定されたカラオケ曲の歌詞データの一部または一冊を印刷手段により印字することができる。

【0013】さらに、情報データが歌詞データに追加されている場合には、指定されたカラオケ曲の歌詞データとともに情報データが、印刷手段により印字される。従って、本発明のカラオケ通信システムにおいては、情報データを通信回線を通じてカラオケ装置に転送することができ、また、印刷手段によって歌詞データまたは情報データに関連することもできる。

【0014】
 発明の実施の形態】以下、本発明の装置の形態を図1
 に基づいて説明する。図1は本発明に適用されるカラオケ通
 信システムを示す図であり、いわゆる「通信カラオケ」
 と呼ばれるもので、カラオケ装置1内にある2台のカラ
 オケユニット30A、30Bが、屋内線40を介して
 集中管理装置10に接続され、またその集中管理装置1
 0には、公衆電話回線3を介して、ホストコンピュータ
 2に接続されて、カラオケ通信システムの主要部を構成
 している。また、カラオケ装置1の屋内外線40には、
 カラオケユニット30Aと、カラオケユニット30B
 と、集中管理装置10と、通信装置の本体20とが接続
 されて、カラオケ装置1のローカルエリアネットワーク
 を形成しており、それらにより本発明のカラオケ装置が
 構成される。

【0015】ホストコンピュータ2には、本カラオケ用
はシステムで演奏可能な全てのカラオケ曲の楽音データ
と歌詞データとが、曲番に対応して記憶されている。
構成された曲の楽音データとは、MIDI規格に基づいて
作成された曲のデータと、少なくとも音高、音の長さ
さ、音色等のデータを含んでいる。また、カラオケ曲の
歌詞データとは、「歌詞テロップ」が文字データとし
て、記憶されたものである。

【0016】図1に示すように、ホストコンピュータ2とカラオケコマンド30Aの間に、集中管理装置10が介在し、ホストコンピュータ2から配属されたオーディオと映像データは、集中管理装置10に曲番々と対応す

るように記述される。これにより、ホストコンピュータ2から配信されたカラオケ曲の楽音データと歌詞データを、ローカルエリアネットワークを介して、カラオケ施設1全体で支障なく共有することができ、

【0017】次に、カラオケ施設1に設置された装置について説明すると、カラオケルームAに備えられたカラオケ装置10は、カラオケ曲の演奏時に許容誤差と（視覚テロップ）を表示するCRリニタ36A（他）と（視覚テロップ）と、マイク38Aとスピーカー39Aがつけられたアンプ37Aとが接続されており、以上よりカラオケ装置の主要部を構成している。また、カラオケ室Bに備えられたカラオケ装置30Bについて同様である。さらに、オーナールームCには、集音管理装置10と、本体20とキーボード26とCRリニタ27とプリンタ28とからなる運用装置とが備えられている。運用装置28においては、ローカルエリアネットワーク40利用して、カラオケ曲の演奏実績やカラオケコマンド30A、30Bの可搬状況等を把握することができ、利用者やオーナーへの情報提供に役立てている。

【0018】次に、カラオケ装置システムの構成について、図2のブロック図を示して説明する。集中管理装置110の内部には、集中管理装置110の動作を制御するCPU113が備えられ、屋内回線40専用のモデム114と、公衆電話回線3専用のモデム112と、ハードディスクを記憶媒体とする記憶装置14等が接続されている。また、記憶装置14の内部には、楽音データ記憶部14Aと、歌唱データ記憶部14Bと、背景映像データ記憶部14Cと、新曲情報記憶部14Dとが備えられている。楽音データ記憶部14Aには、ホストコンピュータ2から配信されるカラオケ曲の楽音データが、曲番号と対応して記憶されている。また、歌唱データ記憶部14Bには、ホストコンピュータ2から配信されるカラオケ曲の歌唱データが、曲番号と対応して記憶されている。さらに、背景映像データ記憶部14Cには、演奏されるカラオケ曲のイメージに合う背景映像が映し出されるように、多数の背景映像データが記憶されている。

【0020】さらに、カラオケコマンド30Aの内部には、カラオケコマンド30Aの動作を制御するCPU32Aが備えられ、筐体内蔵40専用のモデム11Aと、カラオケ曲の演奏データに基づいて演奏音を合成する演奏音合成部35Aと、CRTモニタ36Aにつながれているモニタ制御部34Aと、曲番号を入力する入力キー33A等が接続されている。

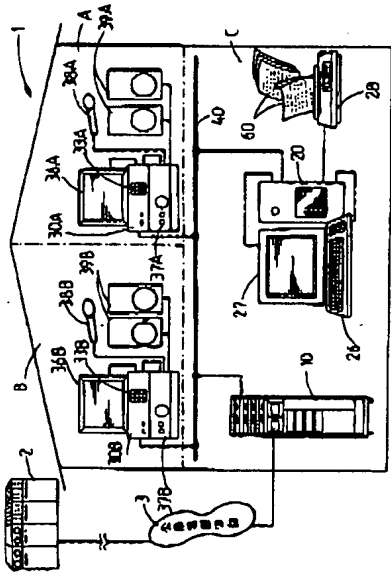
から送られる電話データと背景映像データとも、CRT
จอ的モニタに視覚的に表示可能な映像信号に変換すると
ともに、両データと合成してCRTモニタ36Aに表示
する（「スーパーバイザーズ」方式）。CRTモニタ3
6Aに表示される電話データは、「映像ドロップ」とし
て利用者に該当する映像部分を知らせてる役割を果たす。
[0022] 装置合成部35Aは、例えばセンササイザサ
イターで構成され、集中管理回路10から送られる装置デー
タを、各装置の読取回路を介合（生成）する音源とす
る。この音源は、アンプ37Aに送られて増幅されると
ともに、マイク38Aを介して入力される利用者の音声
と通話の結合でミキシングされ、スピーカ39Aから出
力される。尚、カラオケコマンド300の内部について
も、同様である。

【0023】次に、本カラオケ通信システムにおいて、カラオケ曲の演奏に際し、カラオケコマンドへ、入力キーにより入力された曲番号のカラオケ曲の演奏データ、歌詞データ、背景映像データが送られる動作について、説明する。例えば、カラオケルームAの利用者が、「1」曲目リスト1等から開べたカラオケ曲の曲番号を、カラオケコマンド30Aの入力キー33Aにより入力すると、カラオケコマンド30Aの入力キー33Aより、モデム20、カラオケコマンド30AのCPU32Aが、モデム331Aと屋内回線40を介して、集中管理装置10と通信装置の本体20に入力された曲番号を送る。通信装置の本体20のCPU22は、送られてきた曲番号を記憶装置23に記憶し、カラオケ曲の演奏装置の操作と

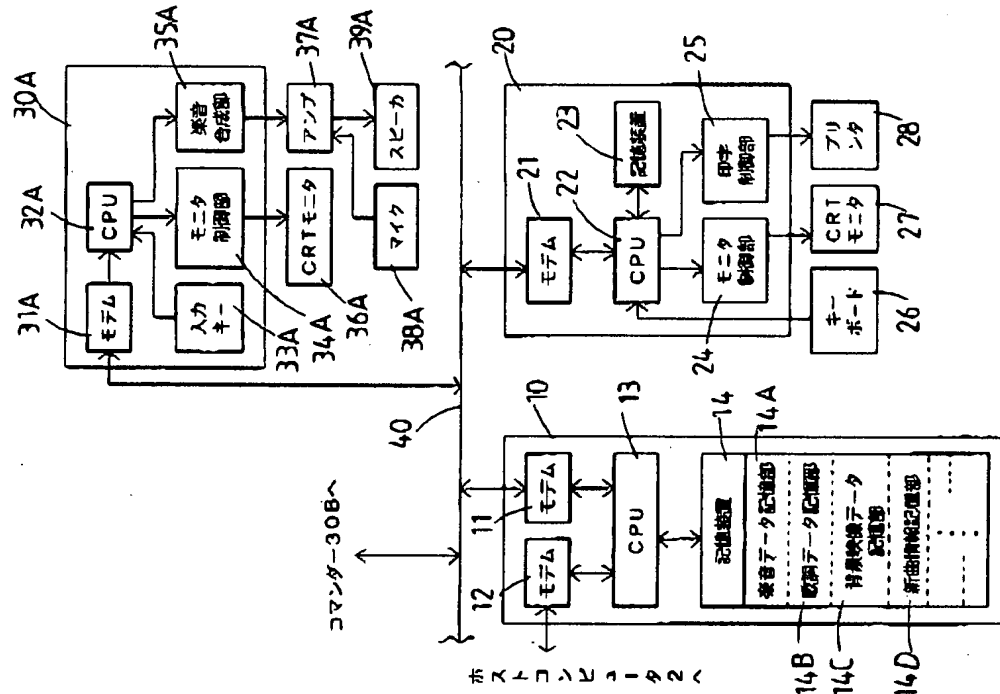
【0024】一方、集中管理装置10のCPU13は、送られてきた曲群りに該当する楽曲データと歌唱データとを、記憶装置14にある楽曲データ記憶部14Aと歌唱データ記憶部14Bとからそれぞれ読み取って、モデム11と屋内回線4Bを介して、カラオケコマンド30A、31と屋内回線4Aを介して、カラオケコマンド30Aに送る。送られてきた曲群りに該当する楽曲データと歌唱データとが記憶装置14に記憶されていない場合には、集中管理装置10のCPU13は、モデム12と公衆電話回線3を介して、ホストコンピュータ2と接続して、カラオケコマンド30Aから送られてきた曲群りに該当する楽曲データと歌唱データの取得を要する。記憶された楽曲データと歌唱データは、カラオケコマンド30Aに送るとともに、記憶装置14にある楽曲データ記憶部14Aと歌唱データ記憶部14Bにそれぞれ記憶部に記憶する。

【0025】同時に、集中管理装置10のCPU13は、送られてきた曲番号のカラオケ曲のイメージに合う背景映像を、背景映像データ記憶部14に記憶された背景映像データの中から選び出し、モードM1と題内同線40を介して、カラオケコマンド30Aに送る。以上より、カラオケコマンド30Aに入力モード3Aにより入力された曲番号のカラオケ曲の演奏データ、歌唱データ、背景映像データが送られて、カラオケ曲の演奏を

【図1】



【図2】



【図3】

